

男	7,450人	女	7,989人
計	15,479人	(前月)	15,500人
	3,963世帯	(前月)	3,966世帯
出生	男 7人	女 4人	計11人
死亡	男 5人	女 4人	計9人
転入	(県内)	9人	(前月)16人
	(県外)	12人	(")11人
転出	(県内)	26人	(")35人
	(県外)	18人	(")22人

- 新年一般参賀 (2日)
 - 成人の日 (15日)
 - 年賀はがきお年玉抽選会 (15日)
 - 青年の船出航 (19日)
 - 全国学校給食週間 (21日~30日)
 - 文化財防火デー (26日)
 - 簡易保険新加入運動 (1月~3月)
 - 北洋の海水観測 (1月~4月)
- 一月のおもな行事

自治大臣表彰の栄に輝く



地方自治法施行二十周年にあたり、国は十一月十七日、東京日比谷公会堂において記念行事を挙行、天皇陛下御臨場の式典席上で、総合経営の優秀な市町村百二十七団体を表彰しましたが、大豊村もそのひとつに選ばれ、長野助役、鈴木議長が出席し、その栄に浴しました。

なお、高知県関係では葉山村と本村の二団体で表彰(写真右は表彰状、左は写真)

地方自治法とは

地方自治とは、地方を自ら治めると書いてあるように、主権者たる住民の意志にもとづいて、その町や村の政治を行なうことを意味しており、地方自治法は、その際のルールを公式の文章にしたものとみてよいでしょう。

この法律は、戦後の新しい民主主義の理念にもとづき、地方自治の体制を確立するため、昭和二十二年五月三日、新憲法と同時に施行されたもので、本年は二十周年目に当るわけです。内容は、市町村が行なわなければならないことを具体的に定めたもので、三編十八章三百二十条からなっていますが、さらにこのほかに公職選挙法、地方公務員法、地方財政法、地方税法など多数の関係法律が制定されています。村でも、この法律にもとづき、たぐさんの条例や規則を制定して、すべてはそれによって行政を行なっています。それだけに村の政治を行なういちばん大切な基本法で、制定してから二十年後の今日、何十回となく改正され形を整えてきています。

九月定例議会

第百回目の村議会定例会が九月三十日から十月六日まで開かれました。

提出された議案は、第二次の補正予算案など九議案でしたが、このうち東部四小学校および豊永中と大田口中統会議案は継続審議となり、他は原案どおり可決となりました。

学校統合議案については、そのご議会特別委員会の審査を経て十月十八日に臨時議会を開き、原案可決となりました。

以下は、可決された各議案の内容です。

第二次補正で 五千八百万円を追加

今回の一般会計追加補正は五千八百四十三万八千円で、本年度の累計額は三億四千七百三十七万七千円となりました。

その主なものは、七月の集中豪雨による災害復旧事業費二千五百九十六万五千円、

農林道工費などが中心の農林水産費九百四十六万三千円、

農産山間試験場用地買収費七百五十二万二千円、試験場用地五畝は地主から村が有償で借り受けて県に無償で提供していたものですが恒久的なもののため、村が公有財産として購入、従来どおり県へ提供することにしたものです。

民生・衛生費六百四十四万六千円。これは社会福祉、保育所、簡易給水施設工事(川口南、久生野)などが主なものです。

教育費二百八十八万六千円。小、中学校の備品購入費や修繕費が主なものとなっています。

これに対する財源の主なものは次のとおりです。

地方交付税一千二百二十三万九千円、

国の補助百七十二万一千円、

県の補助二千二百二十七千円、

指定寄付四百九十六万七千円、

繰入れ三百六十五万五千円。

簡易水道特別会計 料金を引上げ

各地区の改良工費など二百二十万七千円を追加して累計は六百九十九万三千円となりましたが、財源不足分として一部(九十六万八千円)を一般会計から繰り入れなければならぬ現状であり、独立採算の原則上、次のとおり料金の改正が行なわれました。

◎一ヶ月の基本料金(一)内は基本水量超過一立方メートルの料金。

家庭用十立方メートル(二十円)

営業用(二百五十円)(二十五円)

公共用二十立方メートル(三百五十円)(三十五円)

共用せん(家庭用)十立方メートル(五十円)(十五円)

◎電気料(揚水ポンプ用)定額料金一ヶ月につき

家庭用 最低百円、最高二百円

営業用 二百円、二百五十円

公共用 二百円、三百円。

臨時議会

十月十八日に開かれた臨時議会には、九月定例議会で継続審議となっていた

教育委員に上村氏再任

教育委員会委員上村茂明氏が九月三十日で任期満了となりましたが、再び選任されました。

森林組合借入金に 対する補償

大豊村森林組合が、梶ヶ森、穴内、三谷の各林道工事に要する資金四百三十万七千円を、農林漁業金融公庫から借り受けるため、その損失補償を村がするものです。この資金は年五分五厘の利息で三年据置き、二十年々賦で償還することになっています。

十二月定例議会

十二月定例議会は十二月二十日開会、昭和四十一年度一般会計決算認定議案など十三議案を審議、いずれも原案どおり可決しました。

◎第三次一般会計補正予算 二千八百八十二万九千九百九十九円

累計額は三億六千九百九十九万九千九百九十九円

◎簡易水道事業特別会計補正予算 五万五千円追加、累計六百四十四万八千円。

◎四十一年度一般会計決算

歳入二億七千七百七十三万九千四百七十九円、歳出二億六千五百七十八万七千四百三十三円、差引残額五百九十五万二千四百三十六円。

◎簡易水道事業決算

歳入八百七十七万四千四百一円、歳出八百八十八万九千三百七十七円、差引残額五十一万四千七百二十四円。

◎国民健康保険事業決算

歳入七千三百六十一万五千八百四十四円、歳出七千三百三十三万九千七百七十九円、差引残額三十一万一千八百六十五円。

(他の議案は、紙面の都合で決算内容と共に次号で報告します。)

吉川さんの一日村長さん



村でも地方自治法施行二十周年を記念して、十一月十七日に合併後初の一日村長の日を実施しました。

一日村長には、東豊永農協組合長の吉川正一郎氏(岩原)が選ばれ、当日は朝の通勤列車で職員と共に登庁、西岡村長から辞令を受け、花を胸にかざって村長席におさまりました。

九時から、一階事務室でマイクを通じ、職員に「公僕の花の精神にの

っとり住民のための村治施行に努力せられたい。」と訓辞、その後各課長等の行政概要報告をうけました。

村長室では、主に文書決裁をしましたが、各課からの決裁事務が意外に多いことにおどろかれました。

この日の西岡村長は一日村長に席をゆずり、助役席にすわったり事務室に出てきたり、どうも落ちつかない面持ちで半日を過ごしていき一日村長さん(右)



写真右、東豊永支所長の報告をきく一日村長さん(右)



写真右、大田口保育所を視察、園児はちょうどお昼寝の時間。

トップ写真は、村長室での書類決裁事務。

はじめに

私のような奥土佐の山中に住む一介の林業関係者の山猿が日本再建の父と敬仰されている、偉大な宰相吉田さんを取り上げて高知県の緑化運動と結びつけて、このようなことを書くのは、あまりにもおこがましいと気がとがめるがそれでもこのことは、ぜひとも書いておきたい。

緑化運動

毎年春になると繰り返される緑化運動は国民の心の中に緑の苗木を植えることがその主な目的である。

高知県は南国土佐のゆえに春の訪れが早い、したがって全国に先がけて緑化運動が展開される。

「国破れて山河在り」戦前には林産王國といわれ、その代表的な造林地として知られていた「嶺北

故吉田茂さんと
緑化と北窪老

平石五八

林業」は、四国山脈の中の山岳地帯である。

春がきて、うぐいすの声を聞きはじめると、スギ・ヒノキの苗木を満載したトラックが走りだす。そうなる林業に従事している者は、それこそ猫の手も借りたいように急いでそがしくなりだす。

昭和二十九年か三十年の春三月頃だったと記憶しているが、恒例の緑化運動推進のための多くのボスターやチラシなどの宣伝用資材を包んだ荷物が、私の勤めていた事務所へ届いたので、これを開けてみると、その中から「緑の羽根」などととも「草木榮天下春」

吉田総理と北窪老

この年、私の隣り部落で北窪老吉田という七十歳に近いが土佐のイゴツソウを代表するような、気骨隆々たる老人が、林業相談で事務所に来訪された。

この村夫子然とした北窪老も今はすでに鬼籍に入ってしまったが、当時は吉田さんのひきいる保守党に党籍を置き、祖国復興の気概に燃えて活発に政治運動をやっている、よい意味の「山の政治家」だった。

その当時の私は、この北窪老とはその政治思想を異にはしてはいたが、日常は特別に実態をおつき合いを願っていた。

北窪老が事務所に入ってくるなり、このノレンを見上げて「ホホウ！ 吉田総理の書いたノレンじゃないか？ ワシは党（保守）高知県支部の総務をやっているが吉田の爺さん」とは、ミョウにウマが合っている。「北窪老」といって格別に関心してはなかったが、頼んで色紙を二・三枚書いてもらった。吉田さんらしい雅味のある字が、文句もええのう。

北窪老と植林

戦前の民政、政友の政友政治以前の時代からの、政友人であるこの七十歳近い北窪老人青年（？）の林業相談にこられた用件は、「じつは、ワシが今日此所に来たのは、日本精神を穿きかちがえた軍国主義に凝ったヤツらが、偉い政友人の政治家を「問答無用」と殺してしまおう、勝手にハネアガリの馬鹿な戦争をはじめたおかげでワシの山も戦時強制徴採ということになった。」

イヤ、あの戦争中は君（私のこと）が村の森林組合でやっていた時だったのう、ワシもどうせ負けイカサと判っていたが、ヤケクソで進んで供出したもんぢやよ。

あの山に、このオイボレが植林をしてみようかと思いはじめたのぢやよ。

吉田総理と杉の大杉

それによると、

(1) 選挙のとき、吉田総理がこの草深い山村地方を二度も遊説されたのは、この北窪老が無理にたのんで来ていたためのものであること。

イヤ、あの戦争中は君（私のこと）が村の森林組合でやっていた時だったのう、ワシもどうせ負けイカサと判っていたが、ヤケクソで進んで供出したもんぢやよ。

あの山に、このオイボレが植林をしてみようかと思いはじめたのぢやよ。

とは、このときまでまったく知らなかったのである。

念のためよく調べてみると「素直」の署名の横に大きな印鑑が二つ捺してあり、その一つはたしかに「吉田茂」と、朱で染め抜かれた。そして「草木榮天下春」の右肩に「日新」と落款（ラッカン）と北窪老に教わったと記憶しているが押しあつた。

「日新」、日に新たに、日々新たに、新しい道、これは私の最も好きな文句の一つである。

吉田総理がこの「素直」という雅号と、「日新」という落款（ラッカン）を、どうしていつから使ったのか、どうしていつから使ったのか、吉田さんにも聞いてみたが、吉田さんも「誰か御存知の方に聞いてもらいたいものだ」と思っている。

それはともかく、吉田総理が戦後の土佐の荒れはた山野を見て、山に緑を取り返す「緑化運動」の推進を考えられたであろう、ということはその後、高知県森林組合連合会（林業会館）の広間の床に「樹海」と、吉田総理が揮毫された掛軸（かけぢく）が掲げられているのを見て、再確認された。

吉田総理と山村青年

このあとで吉田さんは、

「北窪はワシを、奥土佐の溪谷で美や名勝を見せるためにつれてきた。これはワシの選挙運動にはならないか、」

と、吉田さん一流の冗談を飛ばした。

「四国吉野川上流の景色はよくわかった、この山村で農林業に従事している青年に合せて話をしてみたい、北窪、紹介してくれ。」

と、いわれた、そこで

(1) 北窪老の近隣で農林業に従事している青年の、小笠原賢達君（当時二十六・七才）を現すため、大滝に現住している、すずめて吉田総理に紹介して面談させたこと。

見えて、力強さを感じるとともに救われるような気がしたのである。

代の文豪、大町桂月の、杉の大杉を讀める文章を刻んだ記念碑の、雨と戦い、雪と戦い、疾風迅雷とたたかいてここに二十年、祖国日本とともに成長した杉の大杉の、碑文を讀み、感慨深かそうに愛用のステッキを片手に、おろから赤い落陽を斜に受けて、この二十歳の年輪を刻んだ杉の大杉をじっと静かに見上げて、つっ立っていた。

(3) そのとき北窪老は、あまり身長が高くもない吉田さんのうしろ姿が、敗戦日本の祖国復興のため苦しい戦いの陣頭に立つて進んでいる老宰相吉田総理のすがたが、なんとも偉大なものに見えてきても、ちから強いものを感じるときも、ありたいような気もちも、思わず涙が出そうになつた。

畜産共進会

そのとき、小笠原君から私が聞いた小笠原君と吉田総理との対談の内容は、仲々に意味深いものがあったが、これを書くにあたり、新聞記者にコップの水をぶつかけられ、傲慢無礼、頑迷固陋の保守政治悪人みたいに世間では報道されているが、しかし、

「聞くところによるとはちがいで、私のあった吉田さんは、まことに上品な方で、私にも側近の方にもやさしく思いやりがあり、春風駉蕩としたなかにも、おのづからの威厳が備わっていて、実に立派なお人柄のかたで、新聞や世間がこの人を悪くするのは間違っている」と、確信した。

由来、山村で長期間植物の生命を育てて働いている林業家には、本能的に真物か贋物かを見分けることのできる者がいる。

この青年の、吉田さんに対する直感が正しいものであったことはその後十有五年を経て、吉田さんのじくなつた、今日満次証明されつつある。

ともあれ、大畠村では思うように植林が進まなかったが、草木が榮えてやがて日本にも春がめぐり来ることを示唆した先賢の巨星、吉田さん。敗戦の痛手にも屈しないたくましい意志の政治家吉田総理、そして郷土の緑化育成を心配されていた吉田さん。今はいい。

成人式の行事

四十三年の成人式は、例年のおお大田日小で一月十五日に行なう予定です。式典のほか、会食やレクリエーションなど連合青年団の協力を得て盛大に行ないます。

本年の該当者は男九十八人、女百四人、合計二百三十二人、四十年前から七十八人も多くなっています。該当者には近く各人宛案内状を出しますが、案内もれもあると思いますので、該当の方は公民館へお申し出下さい。

あの貴族趣味の吉田総理が、それこそ一介の百姓青年にすぎない、二十六・七才の若者と、車中で親しく対談した、ということについては、じつは私も半信半疑でこのことを聞いたものだった。

その翌年、この青年小笠原君の造林地を調査することがあったので、私から直接に小笠原君について、このことについてたずねてみた。ところがこれは「ジョウ、マツコトの事実」なのである。

そのとき、小笠原君から私が聞いた小笠原君と吉田総理との対談の内容は、仲々に意味深いものがあったが、これを書くにあたり、新聞記者にコップの水をぶつかけられ、傲慢無礼、頑迷固陋の保守政治悪人みたいに世間では報道されているが、しかし、

「聞くところによるとはちがいで、私のあった吉田さんは、まことに上品な方で、私にも側近の方にもやさしく思いやりがあり、春風駉蕩としたなかにも、おのづからの威厳が備わっていて、実に立派なお人柄のかたで、新聞や世間がこの人を悪くするのは間違っている」と、確信した。

由来、山村で長期間植物の生命を育てて働いている林業家には、本能的に真物か贋物かを見分けることのできる者がいる。

この青年の、吉田さんに対する直感が正しいものであったことはその後十有五年を経て、吉田さんのじくなつた、今日満次証明されつつある。

ともあれ、大畠村では思うように植林が進まなかったが、草木が榮えてやがて日本にも春がめぐり来ることを示唆した先賢の巨星、吉田さん。敗戦の痛手にも屈しないたくましい意志の政治家吉田総理、そして郷土の緑化育成を心配されていた吉田さん。今はいい。

畜産共進会

三十四頭出品

村や農協連合会、農業共済組合などの共催による第八回大畠村畜産共進会が十二月八日高須のセリ市場で行なわれました。

出品されたのは、肥育の部十八頭、繁殖の部九頭、仔牛の部七頭、合計三十四頭で、大畠および土佐農業指導所、県農業共済組合連合会、経済連などの厳重な審査を受けて次ように入賞が決まりました。

なお、共進会終了後、直ちにセリ市が開かれ、およそ二十頭が取引されました。最高値は二十六万一千円で落札、これは、いつもにくらべ良い値だそうぞす。

肥育の部
特等II西岡重雄 小川。一等II小川豊実 小川。二等II森山一日浦。三等II吉川茂晴 高須。西岡秀馬 馬瀬。

繁殖の部
特等II吉松久盛 大砂子。一等II三谷雄彦 岩原。二等II小笠原博文 大王下。三等II小笠原武繁 大王下。

仔牛の部
二等II山中鉄意 東庵谷。土村里助 落合。三等II朝比奈純次 馬瀬。

養蚕コンクール

石徳行 東庵谷。都築澄 中屋。小笠原利弘 間島良忠 大王下。丁野啓富 土浦。岡本秀言 馬瀬

住民基本

このため木村においても役場の組織、窓口事務の改善、新制度へ移行することによって新二区選民の

選挙人名簿に登録された旨を記載するしくみになっています。また、

養蚕コンクール 「三十四名二団体入賞」

第三回大豊村養蚕コンクールの表彰ならびに展示会が十一月十八日に大豊農協で行なわれました。大豊養蚕指導所などが中心となつて、かねてから飼と経営の部にわけて調査していたもので、個人が三十四名、団体二が入賞しました。

大豊村農家二千五百戸のうち養蚕をやっている家が一千四百六十一戸(四十一年度調べ)、さらにこの中から十五戸が個人経営の部に選定され審査の対象となりました。その効果比較表をみると、農家の総収入の中に占める養蚕収入の割合は、ほとんどが五十%以上となつており、最高は蚕だけで八十四万円の収入をあげた家もありました。

また、農家総収入でも百万円を

石徳行 東庵谷 都築澄 中屋。小笠原利弘 間島良忠 大王下。丁野登富 日浦。岡林秀信 馬瀬 団体II経営の部知事賞・永瀧。村長賞、和田

個人II知事賞・上村要 下橋原。努力賞・平石松太郎 八川。原則好 和田。丁野登富 日浦。

献血に 協力し よう

推進会でできる

大豊村献血推進会が誕生しました。これは、激増する交通事故や災害、病氣などによる手術用血液が全国的に不足している現状から、村内にも推進会を組織し献血事業を強力に進めることになつたものです。

結成には、消防、青年、婦人、医師、校長、PTA、社協、交通安全対策委員、保健婦など村内各機関、団体代表の集りを得て、十一月十八日役場本庁で、献血液センター業務課長の説明を聞き、会期や事業計画を決め、県下七番目の推進会として発足しました。今後の推進事業としては、次のようなことを予定しており、住民の方々のご理解とご協力が要望されています。

傷い軍人会 定期総会

大豊村傷い軍人会では十月二十八日に役場本庁で定期総会を開き、会務報告や役員選出などを行ないました。

また妻の会を育成強化し、次の会で幹部の選出など行ない運営に協力することも決められました。

役員は次のとおりです。

届出が便利になります

住民基本台帳法を制定しました。この法律により、住民の住所や世帯の移動、転入、転出、転居などに関する届出が、従って住民の負担が軽減され、行政の効率化が図られると見込まれています。

また、住民の住所や世帯の移動、転入、転出、転居などに関する届出が、従って住民の負担が軽減され、行政の効率化が図られると見込まれています。

届出に関する事項

- 一、総務
- 二、市町村の住民の住所または世帯もしくは世帯主の変更及びこれに伴う住民の権利または義務の移動その他の住民としての地位の変更に関する市町村長その他の執行機関に対する届出その他の行為、これらすべてこの法律では「住民としての地位の変更に関する届出」と総称しておきます。例えば権利または義務の移動等と選挙権とか国民健康保険の被保険者の資格、あるいは住民税などは、まさにその市町村の住民であることにより権利または義務が生じてくることになり、届出がなされれば、届出の効力が生じます。届出がなされれば、届出の効力が生じます。
- 三、世帯主について
- 四、通知事項等

村内学校の 陸上記録会

大豊村内の小学校および中学校の陸上記録大会が十一月十七日に大豊村役場で行なわれ、各校の活躍がみられました。

一位入賞者は次のとおりです。

小学校の部
百歳II五年男 千五百歳II男 石川悟 立川。走中跳II男 藤尾憲治 大田口。宮内洋一 大女 小林由美 東豊永。

中学校の部
百歳II男 徳弘忠純 大杉。女 小林由美 東豊永。

大豊村内の加村武子 大田口。ソフトボール投げII五年男 小笠原平通 大田口。女 上村秀子 西豊永。六年男 上村秀尚 西豊永。女 藤尾裕子 大田口。

大田口校で行なわれ、男子リレーII東豊永。女子II東豊永。

中学校の部
百歳II男 徳弘忠純 大杉。女 小林由美 東豊永。

二百歳II男 宮内茂 大杉。千五百歳II男 石川悟 立川。走中跳II男 藤尾憲治 大田口。宮内洋一 大女 小林由美 東豊永。

走中跳II男 大松富吉 穴内。女 原佳子 大田口。三段跳II大田利夫 大田口。砲丸投II男 島村康男 大杉。女 飯田富美子 豊永。

走中跳II五年男 横内契三 立川。女 上村安恵 立川。六年男 永野正男 大杉。女 田村真由美 立川。

走中跳II五年男 森下昌雄 大田口。女 池添美紀 大田口。六女 小笠原久男 大杉。女

この献血推進会が、より団結した会として今後永続的に行なわれるために、会員全員の血液型の判定を行なうとともに、地区別に献血を年二回(三月と十一月)実施し、不測の災害や病魔にそなえる。

献血下さった方には、ビニールカバー入りの赤い表紙のかわいらしい献血手帳(全国共通)と献血パスを差し上げます。

そして輸血の必要が起りましたら、その手帳を主治医を通じて全国どこの日赤血液センターへでも、ご提出下さい。ご自身はもとより近親の方等へ、きれいな健康な献血の血液を優先してお届けいたします。

(献血のことについて、くわしいことをお知りになりたい方は役場住民課保健係の方へおたずね下さい。)

住民基本台帳法が制定

住民基本台帳法が制定された。これは、住民の住所や世帯の移動、転入、転出、転居などに関する届出が、従って住民の負担が軽減され、行政の効率化が図られると見込まれています。

また、住民の住所や世帯の移動、転入、転出、転居などに関する届出が、従って住民の負担が軽減され、行政の効率化が図られると見込まれています。

届出に関する事項

- 一、総務
- 二、市町村の住民の住所または世帯もしくは世帯主の変更及びこれに伴う住民の権利または義務の移動その他の住民としての地位の変更に関する市町村長その他の執行機関に対する届出その他の行為、これらすべてこの法律では「住民としての地位の変更に関する届出」と総称しておきます。例えば権利または義務の移動等と選挙権とか国民健康保険の被保険者の資格、あるいは住民税などは、まさにその市町村の住民であることにより権利または義務が生じてくることになり、届出がなされれば、届出の効力が生じます。届出がなされれば、届出の効力が生じます。
- 三、世帯主について
- 四、通知事項等

(役場行政課)

日本万国博 行きの会員 募集

アジアで初めての万国博覧会は昭和四十五年三月十五日より大阪千里丘陵で開かれることになっております。

この博覧会は世界の国々が産業や文化の成果をもちり、人類の夢、未来の世界、現代科学の成果と極致を現出する日本では再び見

られない万国博です。当地方からもたくさんの方々が見物に行かれる事が予想され、すでに郵便局や国鉄にたくさんの方々が参加申込をされております。その時期になつて旅行費を無理算段し家計に大きな負担をかけるよりも今日より計画的に費用の積立をして心配なく万国博を見物して頂くため村内の各郵便局では郵便貯金による旅行費の積立を御世話して、見物については村内の各郵便局及び日本交通公社が責任をもって安くて安全な旅行の御世話を

することになっています。申込は村内各郵便局、国鉄各駅に備へつけの申込書によって御申下下さい。くわしい事は各駅長、郵便局長、郵便局貯金係員に御尋ね下さい。

郵便物が増える年末年始がやってきました。各ご家庭とも表札と郵便受けを設けて下さいませようご協力下さい。

県立保健婦専門学院 学生募集について

1. 募集人員 15人
2. 修業期間 1年
3. 出願資格 文部大臣または厚生大臣の指定した看護学校養成所を卒業した者(昭和43年3月卒業見込者を含む)
4. 出願手続 入学願書等は役場住民課にあります。(受験希望者はお早目に役場住民課まで連絡して下さい。)
5. 願書受付期間 昭和43年1月5日から2月8日まで

第15回全国PTA 研究大会に参加して

大豊村小中学校PTA
連絡協議会長 秋山弘安

八月二日は、家庭と学校、地域を一つにしてPTA活動の促進に努めよう、よき父母、よき教師として、子供のしあわせの増進に努めよう。

八月二十日午後九時大杉駅を出発、時あたかも台風十八号の前ぶれで気温上昇のむし暑い車中、また旧盆往來の人々で立往生となつた。夜半の宇高連絡船も、すでに満員締切りで臨時船便となり早くも予定の時間が狂つてしまつた。

八月二十日夕方目的地の長野市に到着し、兼ねて予約していた指定の旅館にわらじをぬぎ長野市の概要を把握すると共に、明日より開かれる二日間の研究大会の準備知識に努めた。

当長野県は全国屈指の教育県でかつ学校給食においても全国一の普及率を示しており、当地での大会が開かれることもなるほどとうなずかれたのであった。まず大

が脱脂粉乳の中学校一人当たりの基準量三五グラムは生ミルク二合五勺に匹敵する栄養が含有されており、必ずしも高くつく生乳に頼ることはないであろう。

分科会においては佐賀県鹿島小学校PTAと長野県池田小学校PTAより学校給食の現状と充実について、それぞれ発表があり児童生徒の発育統計や、嗜好調査、献立の好き嫌い調査、給食調査等、詳細な資料の提出があったが紙面の都合で本紙に掲載できないことを残念に思う。とくに発育調査では全学年を通じて全国平均、県平均を上回る成長率を示しており健全な発育により、落ち着いた気持ちで勉強に打ち込める心理的な面にも大いに影響があるであろう。

八月二十日夕方目的地の長野市に到着し、兼ねて予約していた指定の旅館にわらじをぬぎ長野市の概要を把握すると共に、明日より開かれる二日間の研究大会の準備知識に努めた。

当長野県は全国屈指の教育県でかつ学校給食においても全国一の普及率を示しており、当地での大会が開かれることもなるほどとうなずかれたのであった。まず大

が脱脂粉乳の中学校一人当たりの基準量三五グラムは生ミルク二合五勺に匹敵する栄養が含有されており、必ずしも高くつく生乳に頼ることはないであろう。

分科会においては佐賀県鹿島小学校PTAと長野県池田小学校PTAより学校給食の現状と充実について、それぞれ発表があり児童生徒の発育統計や、嗜好調査、献立の好き嫌い調査、給食調査等、詳細な資料の提出があったが紙面の都合で本紙に掲載できないことを残念に思う。とくに発育調査では全学年を通じて全国平均、県平均を上回る成長率を示しており健全な発育により、落ち着いた気持ちで勉強に打ち込める心理的な面にも大いに影響があるであろう。

が脱脂粉乳の中学校一人当たりの基準量三五グラムは生ミルク二合五勺に匹敵する栄養が含有されており、必ずしも高くつく生乳に頼ることはないであろう。

分科会においては佐賀県鹿島小学校PTAと長野県池田小学校PTAより学校給食の現状と充実について、それぞれ発表があり児童生徒の発育統計や、嗜好調査、献立の好き嫌い調査、給食調査等、詳細な資料の提出があったが紙面の都合で本紙に掲載できないことを残念に思う。とくに発育調査では全学年を通じて全国平均、県平均を上回る成長率を示しており健全な発育により、落ち着いた気持ちで勉強に打ち込める心理的な面にも大いに影響があるであろう。

村の歴史 9

- 先号に豊永郷の大庄屋と惣老について、その権限、任務及び変遷についてくわしく書いたが、更にその系統をわかりやすくするために系譜をのせることにする。
- 豊永郷大庄屋系譜
- 一、豊永氏(三代)
- 豊永五郎右衛門 大平住
元長宗我部元親臣
山内一豊入国当時木山一揆鎮定ノ功ヲ以テ慶長九年豊永押へ役トシテ五十石ヲ給セラレ大平二住ス
- 二、藤太夫次 大平住
五郎右衛門 大平住
門發政弟 大平住
延宝元年 大平住
大庄屋役拜命 大平住
動轉三十九年、正徳元年病歿
- 三、長瀬氏(二代) 大平住
藤太夫次 大平住
五郎右衛門 大平住
門發政弟 大平住
延宝元年 大平住
大庄屋役拜命 大平住
動轉三十九年、正徳元年病歿
- 三、山本氏(五代) 下土居住
寛延年中大庄屋役拜命
- 山本依次郎重信 下土居住
宝曆五年九月二十四日 豊永郷大庄屋拜命動轉九年、宝曆十三年十月九日七十一才ニ病歿
新改元含メ動轉都合五十四年
- 六代大庄屋

豊永郷の 大庄屋と惣老

- 「重左衛門信之」
宝曆十三年十一月六日 相續自動十七年新改
代勤共都合四十四ヶ年、安永七年七月六日七十四才病歿
- 七代大庄屋 下土居住
源之進信保
安永七年八月二十五日 相續自動二十一ヶ年
- 八代大庄屋 下ノ土居住
柳之丞信利
寛政十年九月二十三日 相續自動三十六ヶ年
- 九代大庄屋 下土居住
一実藏重運
天保四年三月二十七日 相續明治二年二月二十七日市野山郷大庄屋役ニ所替
- 「小笠原保八」
安政六年二月相續
山中氏(二代年数不明)
惣老初代 名字帯刀御免
○山中銀三郎
豊永郷惣老ニ任ゼラル(年月不詳)
註豊立図書館所蔵の惣老根居に立川口番人大庄屋とあるも疑問、御存知の方あれば御教示を乞う
- 惣老二代 名字帯刀御免
○山中万七郎
初メ万七後高島万七郎ト革メ更ニ殿六郎ト革ム
文久元西年九月相續

行政相談

役所のご苦情のある方は、どんな小さなことでも気軽に相談下さい。親身になってお世話を致します。

▼どんなことを相談するのか
恩給、年金、登記、国税、保険生活保護、環境衛生、農地、郵便道路、交通、公営住宅、河川、公害、その他一般許認可など。

また、国鉄、電々、専売、公団公庫、事業団等のことについての相談。

▼どこへ相談するのか
各市町村に、行政管理局長官から委嘱されて置かれている行政相談委員または高知行政監察局に申し出て下さい。行政相談委員と行政監察局とは互に連絡して仕事をしています。

▼どのような方法で相談するのか
直接口頭で申し出られるのがよいのですが、簡単なものは電話でも手紙でもかまいません。

行政相談委員
佐竹 繁 晴
中村大王七二六
山 中 ヤス子
東上居三三二の三
高知行政監察局
高知市中島町一五八番地
電話高知②二三五九

心配事相談日

なんでも御気軽に御相談下さい。秘密厳守、無料

毎週火曜日 役場本庁
木曜日 東豊永支所
金曜日 西豊永支所
大豊村社会福祉協議会(事務局は本庁住民課内)

いづれも午前10時午後4時

住居をかえられた時は十四日以内に必ず役場に届けましょう。

編集後記

いろいろの都合で発行が遅れ申しわけありません。

忙しい毎日を送っていると、全くアツというまに年の瀬がやってきました。なすべき事の余りにも多く、またなざる事も余りにも多く、またなざる事も余りにも多し。

◆明年は新庁舎も落成、また気分一新して村の為、がんばらねばなりません。

◆村民のみならず、ご一家ご健康で明るいお正月をお迎えになりますよう、心からお祈りいたします。